

2021年1月25日

報道関係者各位

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

慶應イノベーション・イニシアティブが2号ファンドを103億円で募集終了 アカデミアの研究成果を活かして社会課題を解決するスタートアップを育成

大学VCの慶應イノベーション・イニシアティブは2号ファンドの募集を103億円で終了いたしました。2号ファンドではシード・アーリーステージからのリード投資を中心に、幅広く技術系スタートアップに投資対象を広げます。

大学ベンチャーキャピタルの「慶應イノベーション・イニシアティブ」(通称:KII、代表取締役社長山岸広太郎)は、2021年1月22日に2号ファンドの募集を総額103億円で終了いたしました。中小企業基盤整備機構をはじめとする追加出資者の参加により、2号ファンドの総額は1号ファンドの約45億円から2倍以上に拡大いたしました。

KIIでは2016年7月に開始した約45億円の1号ファンドより慶應義塾大学の研究成果を活用した企業や卒業生が設立した企業19社に対して投資を行ってきました。代表的な投資例としては、2020年12月に東京証券取引所マザーズに上場した創薬ベンチャーのクリングルファーマや、日本で最初にデジタル治療薬として承認されたCureApp、2020年に最も企業価値が増加した未上場企業である次世代バッテリー製造のAPB、2020年12月に人工衛星の実証機を打ち上げた宇宙ベンチャーのSynspectiveなどがあります。

2号ファンドは2020年1月より運用を開始し、2021年1月25日現在5社に対して投資を行っております。2号ファンドでは20~25社程度への出資を計画しており、慶應義塾大学に限らず、大学や研究機関等の優れた研究成果を活用したスタートアップに対して、シード・アーリーステージからリード投資家として支援を行っていく方針です。

KIIはスタートアップへの投資育成を通じて日本が誇る大学等の研究機関の技術や知的財産といった優れた研究成果の社会実装を推進し社会貢献の一翼を担うと同時に、ベンチャーキャピタルファンドとして高い収益性を確保し持続的なイノベーションエコシステムの構築に取り組んで参ります。

<KII2 号ファンドへの追加出資者(有限責任組合員)>

機関投資家 金融機関	中小企業基盤整備機構、三菱 UFJ 銀行、三井住友信託銀行、極東証券、 三菱 UFJ キャピタル
事業会社	エーザイ
起業家	金當一臣

<KII2 号ファンドの概要>

名称	KII2 号投資事業有限責任組合 KII2, LPS
投資対象	慶應義塾大学をはじめとする大学、研究機関等の成果を活用したベンチャー企業
ファンド総額	103 億円
運用期間	2020 年 1 月 24 日より 10 年間(最大 2 年の延長可能性あり)

<KII の概要>

商号	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ Keio Innovation Initiative, Inc.
事業内容	大学発技術系ベンチャー企業の育成 ベンチャーキャピタルファンドの運営
資本金等	1 億円(資本準備金 5000 万円を含む)
株主	株式会社慶應学術事業会、野村ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 山岸広太郎
URL	http://www.keio-innovation.co.jp

本件に関するお問い合わせ先

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 広報事務局(ビルコム株式会社内)

担当: 倉地・善本

TEL: 03-5413-2411 FAX: 03-5413-2412 Mail: kii@bil.jp

本リリースに掲載された内容は発表日現在の情報です。